

信州大学医学部附属病院 高度救命救急センターに入院中または  
過去に入院された患者さんまたはご家族の方へ  
当病棟における臨床研究にご協力をお願いいたします。

**「高度救命救急センターにおける電子カルテの掲示板機能を活用したリハビリテーション介入による FSS-ICU の向上」に関する臨床研究を実施しております。**

信州大学医学部生命科学・医学系研究倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

|           |                                                                                                                 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題名     | 高度救命救急センターにおける電子カルテの掲示板機能を活用したリハビリテーション介入による FSS-ICU の向上                                                        |
| 所属(診療科等)  | 信州大学医学部附属病院 看護部                                                                                                 |
| 研究責任者(職名) | 高度救命救急センター、太田英里                                                                                                 |
| 研究実施期間    | 医学部長による許可日～2027 年 3 月 31 日                                                                                      |
| 研究の意義、目的  | 職種間でリハビリメニューを共有したことで得られたリハビリの効果を明らかにすることを目的としています。                                                              |
| 研究の対象となる方 | 2022 年 4 月から 2026 年 1 月の期間に、2 週間以上高度救命救急センターに入院された方<br>(ただし、頸髄損傷での入院は除く)                                        |
| 利用する診療記録  | 年齢、性別、疾患名、初回 FSS-ICU、退室時 FSS-ICU、麻痺・認知症の有無、生活援助の必要性和程度<br>*FSS-ICU とは、ICU 入室患者さんを対象とした、日常生活動作がどの程度可能かを評価する指標です。 |
| 研究方法      | 過去の診療記録より上記の内容を収集し、FSS-ICU スコアを用いてリハビリの効果を検討します。                                                                |
| 共同研究機関名   | 本研究は、信州大学のみで実施されます。                                                                                             |
| 問い合わせ先    | 氏名(所属・職名)：太田英里(高度救命救急センター・看護師)<br>電話：0263-37-2999                                                               |

**既存診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。2026 年 6 月 12 日までであれば、いつでもお断りいただけます。期限を過ぎてのお申し出は、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。